

首都圏カバー率

反復訴求性

連続的な訴求効果

強制視認性

リーセンシー効果

JR東日本交通広告5つの強み

生活者を引きつけ、動かす。交通広告ならではの力があります。

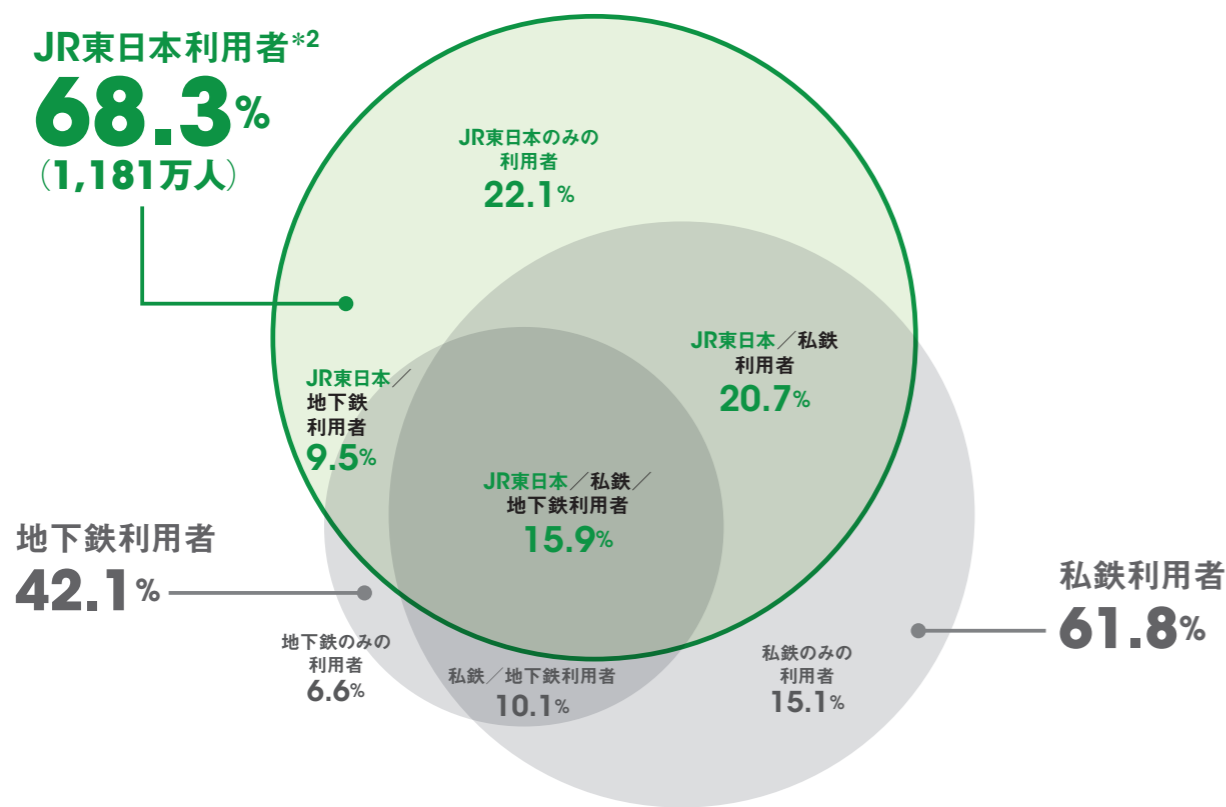
強み1

首都圏カバー率

首都圏鉄道利用者の 68.3% (1,181万人) がJR東日本を利用

首都圏においては、70km圏内の生活者、約2,874万人の60% (約1,730万人) が鉄道利用者*1。
その内JR利用者は全体のうち41%にも達し、1週間の延べ利用者数は約11,290万人で、高い媒体接触率を誇るメディアです。

JR東日本利用者*2
68.3%
(1,181万人)



JR東日本
推定利用者数*2
1,181万人

1週間の
平均利用回数
9.6回

JR東日本1週間の延べ利用者数
11,290万人

*1 鉄道利用者には新幹線利用を含みません *2 JR東日本利用者には新幹線利用を含みません
※「jekい首都圏移動者調査2019」(ジェイアール東日本企画調べ) ※端数処理の関係上、合計値が合わない場合があります

強み2

反復訴求性

メディア特性を活かし、 日常的・反復的な広告訴求を実現

首都圏の通勤・通学者であるサラリーマン・OL・学生などの定期券利用者が多く、
複数の路線が日常的に、反復的に接触されているメディアです。



定期券利用者が多く、
日常的・反復的に、交通広告に接触

JR東日本利用者*1の構成 (%)

※「jekい首都圏移動者調査2019」(ジェイアール東日本企画調べ) ※端数処理の関係上、合計値が合わない場合があります

性別	男性 56.8						女性 43.2									
年代別	3.8	8.6	9.9	12.1	11.0	11.4	4.2	7.2	7.0	8.7	7.2	8.9				
	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上				
職業別	3.9		42.8				10.2		4.1		11.6		13.4		14.1	
	学生		勤め人			その他 (中学生を含む)	学生	既婚 勤め人	未婚 勤め人		その他 (中学生を含む)					

強み3

連続的な訴求効果

鉄道利用者の動線に合わせ、 連続的な 広告訴求が可能

駅→車両→駅という鉄道利用者の動線で連続して広告訴求ができます。
また、屋内→屋外→屋内という広告訴求タイミングの中で、モバイル媒体はもちろんのこと、屋内型媒体(テレビ・インターネット等)とのメディアミックス効果も大いに期待できます。

*1 JR東日本利用者には新幹線利用を含みません

強み4

強制視認性

駅・車両という 環境を活かした 高い視認性

他のメディアと異なり、駅・車両という生活者の利用環境に付随しているメディアであるため、強制的に視認される可能性が高いメディアです。

強み5

リーセンシー効果

購買地点に近い 広告接触により 生活者の購買を刺激

駅構内・周辺の購買地点に近い所で接触されるため、より直接的に購買を刺激するセールスプロモーション効果の高いメディアです。

[リーセンシー効果]
購入直前に接触した広告が、購買行動に影響を与える効果。

JR東日本交通広告のパワー

首都圏JR東日本利用者のほとんどが3線群(京浜東北線群・山手線群・中央線群)を利用。
特に20代から40代の年齢層は、鉄道の利用者数、利用頻度ともに高く、日常的・反復的に鉄道を利用しています。

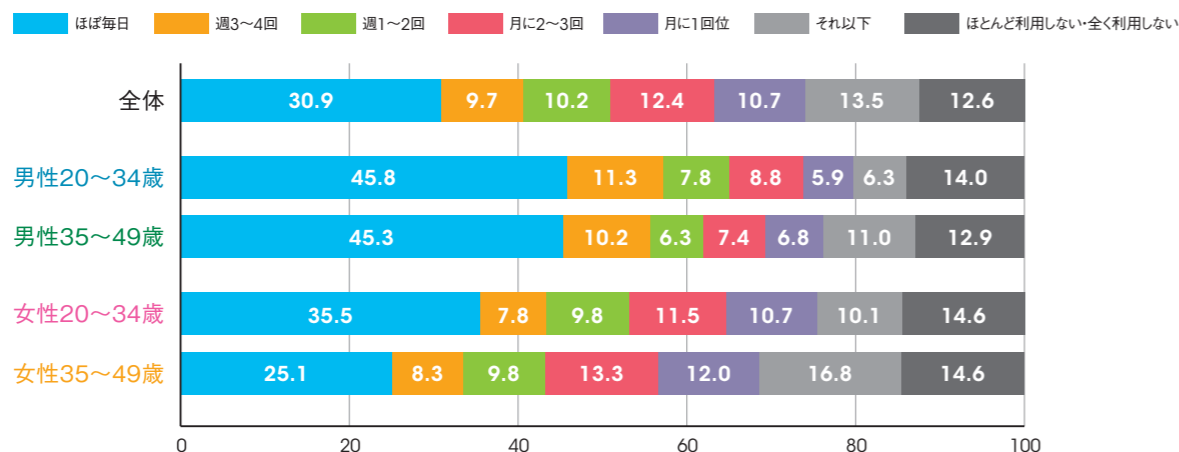
路線の利用者 ※()内は1週間の延べ乗車率

	1週間の延べ利用者数	推定利用者数	1週間の平均利用回数
JR東日本利用者*2	11,290万人 (392.9%)	1,181万人	9.6回
首都圏全線利用者	11,195万人 (389.6%)	1,179万人	9.5回
3線群利用者	9,395万人 (326.9%)	1,103万人	8.5回

路線利用状況

性別	1週間の延べ利用者数		推定利用者数		1週間の平均利用回数	
	20~34歳	35~49歳	20~34歳	35~49歳	20~34歳	35~49歳
男性						
鉄道利用者*1	3,655万人	5,792万人	202万人	298万人	18.1回	19.5回
JR東日本利用者*2	1,524万人	2,443万人	148万人	214万人	10.3回	11.4回
3線群利用者	1,275万人	2,046万人	137万人	200万人	9.3回	10.2回
女性						
鉄道利用者*1	2,871万人	3,312万人	177万人	232万人	16.2回	14.3回
JR東日本利用者*2	1,118万人	1,248万人	121万人	149万人	9.2回	8.4回
3線群利用者	934万人	1,053万人	112万人	140万人	8.3回	7.5回

鉄道利用頻度 (%)



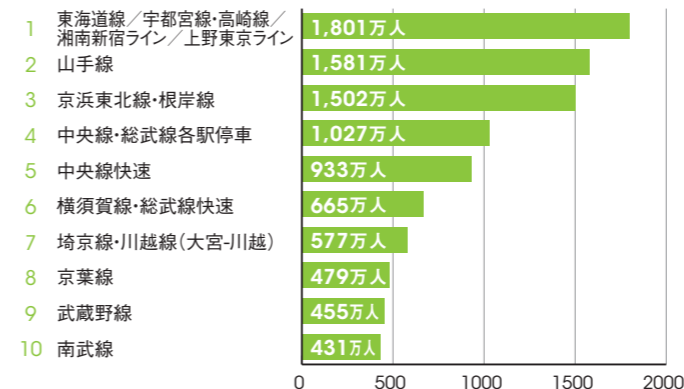
*1 鉄道利用者には新幹線利用を含みません
*2 JR東日本利用者には新幹線利用を含みません
※「Jeki首都圏移動者調査2019」(ジェイアール東日本企画調べ)
※首都圏全線:3線群、東海道線(伊東線含む)/宇都宮線・高崎線/湘南新宿ライン/上野東京ライン(常磐線内を除く)
※3線群:京浜東北線群、山手線群、中央線群
※京浜東北線群:京浜東北線・根岸線、横濱線、鶴見線、南武線、相模線、埼京線・川越線(大宮・川越間)、八高線(八王子・高麗川間)、りんかい線
※山手線群:山手線、常磐線、横須賀線・総武線快速、成田線(我孫子・成田間)、つくばエクスプレス
※中央線群:中央線快速、中央線・総武線各駅停車、青梅線、五日市線、武蔵野線、京葉線
※利用者は、1週間に1度以上利用した人を表します
※端数処理の関係上、合計値が合わない場合があります

属性別利用ランキング

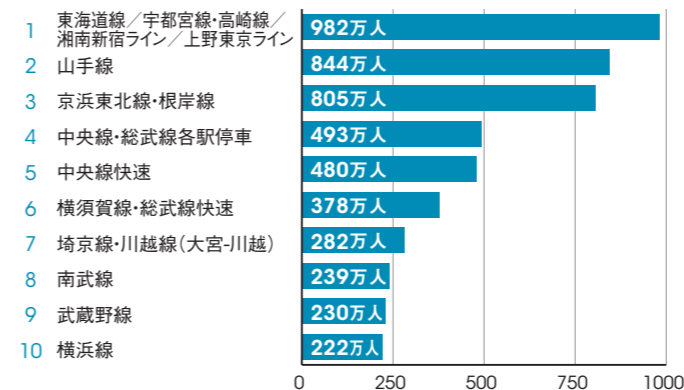
路線では「東海道線/宇都宮線・高崎線/湘南新宿ライン/上野東京ライン」、駅では「新宿駅」の利用者が、どの属性においても高い値となっています。ランキング2位以下は、それぞれの属性によって、路線・駅の利用状況に特徴が見られます。

JR路線ベスト10 (1週間の延べ利用者数)

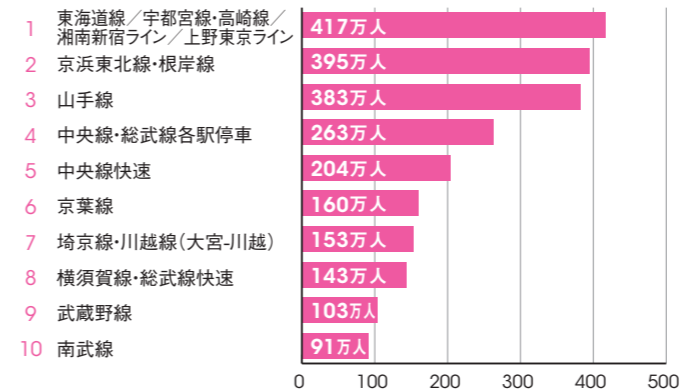
個人全体



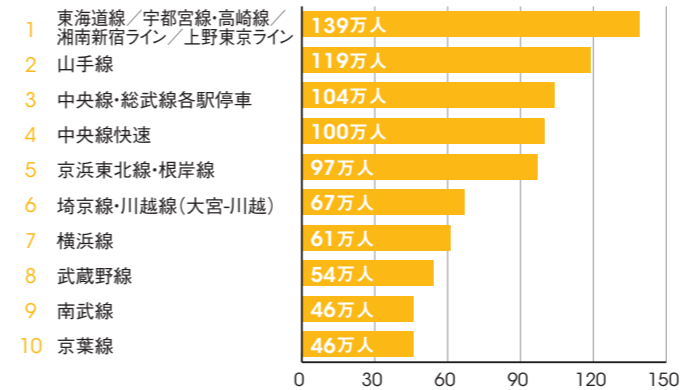
男性勤め人



女性勤め人

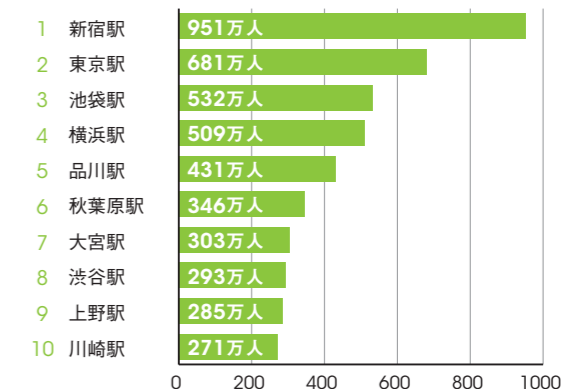


学生計

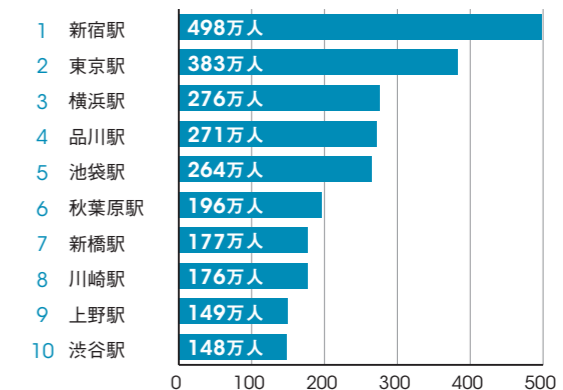


JR駅ベスト10 (1週間の延べ利用者数)

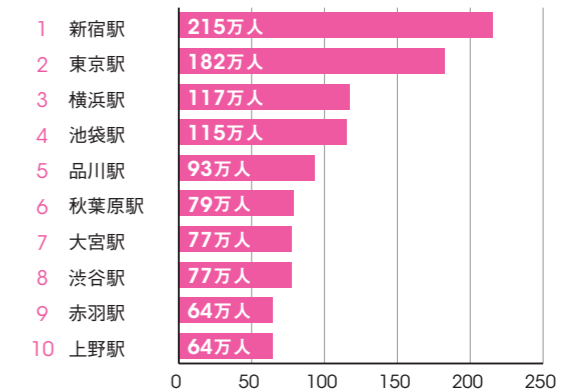
個人全体



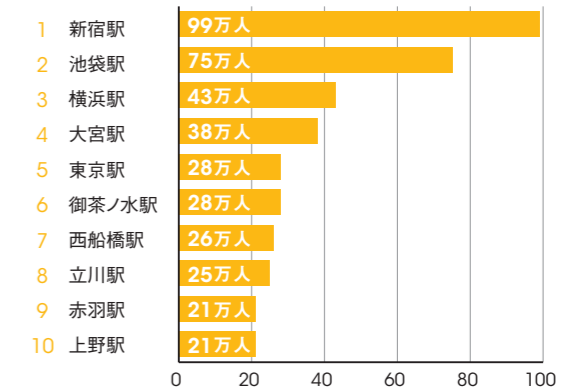
男性勤め人



女性勤め人



学生計



※「Jeki首都圏移動者調査2019」(ジェイアール東日本企画調べ)